

本研究では、日々の報道で取り上げられている新型コロナウイルス感染症のデータを視覚化することで、時系列的な変遷や、空間的な伝播を確認することを目的とした。手法としては、100万人当たりの感染者数を2020年3月8日～2020年10月3日の期間において週ごとに日本地図上に塗り分けRのanimationパッケージを用いてGIFアニメとして動的に出力した。結果として、第一波の増加やその後の減少、そして第二波の確認をするとともに、空間的な特徴を発見できた。